

令和 3 年度

私費外国人留学生入試募集要項

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、募集要項に記載されている日程や選抜方法等とは異なる方法で実施することがあります。

公表した内容から変更があった場合は、本学ホームページ
(<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) に変更後の募集要項を掲載しますので、随時確認してください。

なお、状況によっては、変更後の内容がさらに変更となる場合もあります。



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

Web出願利用ガイド

山梨大学ではWeb出願を実施しています。Web出願では入力内容が自動でチェックされますので、記入漏れや入力ミスの心配がありません。また、募集要項や願書の取り寄せは不要となり、出願期間中24時間いつでも登録が可能です。さらに、入学検定料はクレジットカードやコンビニエンスストアで支払うことができます。

Web出願の事前準備

STEP 1

①インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレットなど

OSやブラウザは最新の状態にアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビ（株）のAdobe Readerの最新版をダウンロード（無償）し、最新の状態にアップデートしておいてください。

②利用可能なメールアドレス

パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。

④事前に準備できる出願書類

「卒業（見込）証明書」や「成績証明書」は発行に時間がかかる場合がありますので、早めに出身高校等に申請手続きをしてください。
「活動実績報告書」は、本学ホームページから事前に様式をダウンロードできます。

⑤市販の角形2号封筒・郵便切手*

封筒は出願書類の送付に必要です。切手は各募集要項に記載の金額を過不足なく用意してください。

※日本国外から出願する場合は不要です。

⑥顔写真

3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦4：横3（縦800ピクセル×横600ピクセル以上）、JPEG形式の写真を用意してください。



STEP 2

メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学 Web出願」で検索又は下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、30分以内に本文に記載されているURLから次の手順に進んでください。

STEP 3

利用者情報の登録 ※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報（氏名、住所、電話番号、生年月日など）を登録してください。

STEP 4

出願情報の登録 ※ここからは、出願期間中のみ登録が可能です。

画面の案内に従って出願情報（入試区分、志望学部・学科、受験科目、写真など）を登録してください。



山梨大学入試
Web出願サイト

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp/>

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキングのいずれかの支払い方法を選択し、入学検定料を支払ってください。クレジットカード以外の支払方法は入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・郵送

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。用意しておいた封筒に「封筒貼付票」を貼り、「出願書類等チェックリスト」で書類が全て揃っているか確認の上、郵便局窓口から簡易書留速達で山梨大学入試課に郵送してください。

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

Web出願に関する問い合わせ

山梨大学入試課

☎055-220-8046

✉web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

目 次

アドミッションポリシー	1
1 募 集 人 員	9
2 出 願 資 格	9
3 出 願 手 続 等	12
4 受験票の発送	15
5 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	15
6 選 抜 方 法	16
7 選抜期日及び場所	18
8 受験上の注意	18
9 入学試験における感染症対応について	18
10 受験生に対する要請事項	19
11 不正行為等に対する措置	20
12 合格者の発表	20
13 入 学 手 続	20
14 授 業 料	21
15 その他の経費	21
16 そ の 他	21
17 新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する追試験の実施について	21
出願上の注意事項	23
山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図	24
山梨大学（甲府キャンパス）周辺図	25

○出願書類（所定の様式）

活動実績報告書

※様式は出願期間前から下記よりダウンロードできます。

本学ホームページ＞入試情報＞学部入試＞募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>

（問い合わせ先）

山梨大学教学支援部入試課

〒 400-8510 甲府市武田 4 丁目 4 － 37

電 話 055 － 220 － 8046

（受付時間）

平日（月～金）8時30分～17時

（ただし、休日、祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く）

《アドミッションポリシー》

山梨大学では、令和2（2020）年度以降の入学者選抜を実施するためのアドミッションポリシー（入学者選抜方針）を以下のように定めました。本学のアドミッションポリシーは、まず、山梨大学が求める人物像と入学者に求める資質能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質能力・人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、育成目標は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。入学者に求める資質能力・人物像には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。

なお、入学前に学習しておくことが期待される内容も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

《山梨大学が求める人物像》

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人物を国内外から受け入れます。

《入学者に求める資質能力＊》

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

＊ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法の精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

【教育学部】

《理念・目的》

人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的としています。

《育成目標【豊かな人間性と教育文化を創造する教員の育成】》

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指します。

そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

《求める資質・能力・人物像》

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- ・子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人

- ・自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- ・課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- ・多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

《入学前に学習しておくことが期待される内容》

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- ・国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- ・地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力
- ・数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- ・理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- ・外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識・技能
- ・情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- ・家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- ・音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- ・美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- ・保健体育については、運動と健康に関する基礎的な知識・技能

《各コースの育成目標と求める能力・人物像》

○幼小発達教育コース

本コースでは、人間の生涯発達全般を見通しつつ、特に就学前から小学校段階の子どもの発達と教育についての深い識見を持つだけでなく、子どもとともに、また他者とともに学びながら、今日的な教育課題の解決に挑戦していける教員の養成を目指しています。心理学、教育学そして幼児教育学などに強い関心があり、幼稚園や小学校の教員などを目指す学生を求めています。

○障害児教育コース

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どものことを深く理解した上で、確かな実践的技能を駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。

子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

○言語教育コース

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「国語教育系」「英語教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。

「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。

○生活社会教育コース

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的

指導力を持つ教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「社会科教育系」「家政教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「社会科教育系」では、法学、政治学、社会学、経済学、哲学・倫理学、歴史学、地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。

「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

○科学教育コース

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。

「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。

「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員を目指す学生を求めています。

○芸術身体教育コース

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化や心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。

「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。

「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

【工学部】

《理念・目的》

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育研究を行います。

《育成目標【未来世代を思いやるエンジニアリング教育】》

本学の入学者受け入れ方針に加え、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材を養成します。

《求める資質・能力・人物像》

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- ・ 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- ・ 各学科で学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- ・ 学科別に提示する数学、理科の基礎力を有していること
- ・ 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- ・ 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- ・ 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・ 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

○機械工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

人間と機械との結びつきを理解し、自然と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者を育成します。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。

そのために次のような人材を求めます。

- ・ 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- ・ 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- ・ 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- ・ 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で履修した科目、とりわけ数学、物理、英語をしっかりと理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

○メカトロニクス工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本学科では、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者を育成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人。
- ・ 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分理解していることが必要です。またメカトロニクス工学科は、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

○電気電子工学科

<育成目標と求める能力・人物像>

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本学科は、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者を育成することをミッションとしており、次のような人材を求めます。

- ・ 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発電システム、スマートフォンなどの ICT 機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- ・ 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

<入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で履修した数学、理科、英語、国語、地歴公民で学習した内容がしっかり理解できていることを望んでいます。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

○コンピュータ理工学科

<育成目標と求める能力・人物像>

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本学科は、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者を育成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- ・ 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

<入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

○土木環境工学科

<育成目標と求める能力・人物像>

土木環境工学系の技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本学科では、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる技術者」を育成するため、以下のような人材を求めています。

- ・ 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりを通じて、社会に貢献したいという意思のある人
- ・ 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が大い分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

○応用化学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

応用化学を学修した卒業生は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本学科では、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者を育成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- ・ 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

○先端材料理工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

材料科学は、原子・分子レベルの操作で新材料を創り、新たな機能を生み出すことを目的とした学問であり、科学技術、社会が変化しても持続的な就業能力を持った人材を育成します。そのために次のような人材を求めます。

- ・ 物理と化学の知識を合わせ持ち、原子・分子レベルの操作で先端材料を作り、新機能を生み出すことによって新しい社会を築いていこうとする意欲ある人
- ・ 数学・理科に関する諸々の話題、疑問点を追究する強い好奇心を持ち、それを生かした社会貢献に意欲的な人

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学そして物理と化学を理解していること、それ以前にそれらが好きであることが重要です。研究論文や技術報告書を読む、あるいは自ら執筆するためには英語や国語の力、特に論理を組み立てていく能力も必要です。入学時にこれらをすべて備えていることを必ずしも要求しませんが、将来の自分のために投資しておくという基本的学習習慣だけは必ず身につけておくことを期待します。

【生命環境学部】

＜理念・目的＞

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身に付け、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

＜育成目標【自然と社会の共生科学の創生】＞

本学の入学者受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問

題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指します。

文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

求める資質・能力・人物像

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人材を求めています。

- ・高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- ・自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理科学の基礎学力を身につけていること
- ・社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- ・文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- ・グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- ・実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- ・教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

○生命工学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者を養成することを目指しています。そのために、次のような人材を求めます。

- ・バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること
- ・論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- ・入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も望んでいます。

○地域食物科学科

＜育成目標と求める能力・人物像＞

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材を養成することを目指しています。そのために、次のような人材を求めます。

- ・本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学、等）を十分に理解できていること
- ・自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- ・食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- ・本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を

含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

○環境科学科

<育成目標と求める能力・人物像>

生物資源の持続的な生産を支える土壌、水、大気や生態系に関する専門知識を学ぶことによって、自然環境と共生する持続可能な社会の創生に貢献できる人材を養成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 自然環境の成り立ちを理解するために必要な理科（物理、化学、生物、地学）の基礎学力を備えていること
- ・ 論理的な思考を行う上で必要な数学の基礎学力を備えていること
- ・ 他者とのコミュニケーションや自身の考えを的確に伝えるために必要な国語や外国語の素養を有していること
- ・ 環境問題を解決するために不可欠な社会系科目（地理歴史や公民）に対する理解があること
- ・ 自然と人間社会との共生に強い関心があり、本学科で学んだことを活かして持続可能な社会の創生に貢献したいという意欲があること

<入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身についていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

○地域社会システム学科

<育成目標と求める能力・人物像>

経済・経営・行政に強い関心を持ち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通し地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を養成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- ・ さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- ・ 科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

<入学前に学習しておくことが期待される内容>

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題へ関心を寄せる習慣を身につけておくことを望んでいます。

1 募集人員

学 部	募集人員	備 考
教 育 学 部	若干人	6 コースのうち、出願できるのはいずれか 1 コースのみです。
工 学 部	若干人	7 学科のうち、出願できるのはいずれか 1 学科のみです。
生命環境学部	若干人	4 学科のうち、出願できるのはいずれか 1 学科のみです。

(注) コース、学科については、10～11 ページの表 1 を参照してください。

2 出願資格

(1) 日本国籍を有さず、出入国管理及び難民認定法(昭和 26 年政令等 319 号)に定める「留学」の在留資格を入学時まで取得又は更新できる方で、次のいずれかに該当し、かつ、(2) の要件を満たしている方とします。

① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方及び令和 3 年 3 月 31 日までに修了見込みの方又はこれに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの(注 1 を参照)

なお、上記 12 年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算 3 年以内であること

② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する方

③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する方

④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する方

⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEA レベル)を有する方

なお、必要な GCEA レベルの科目数・評価については、教学支援部入試課まで照会してください。

(注 1) 「これに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの」(昭和 56 年文部省告示第 153 号)とは、次に該当する方とします。該当する場合は、あらかじめ資格等を確認しますので、令和 2 年 12 月 14 日(月)までに教学支援部入試課に照会してください。

ア 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した方と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含みます。)に合格した方で、令和 3 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

イ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した方(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含みます。)に合格した方を含みます。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した方又は修了見込みの方であり、かつ、令和 3 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

ウ 外国において、指定された 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した方

(2) 次のそれぞれの要件を満たしていること。

①独立行政法人日本学生支援機構が令和2年11月に実施する「2020年度日本留学試験」において表1に示す科目を受験し、同表に示す得点を得ていること。(11月の試験が中止となった場合は、2019年度実施分(令和元年6月又は11月)の成績を認める。)

②TOEFL又はTOEICを受験していること。(2019年1月以降に受験したものに限る。)

表1 「2020年度日本留学試験」の利用科目

※日本留学試験の成績は、必ず同じ回のもを提出してください。(科目毎に異なる回の成績を提出することはできません。)

※日本留学試験については、下記へ照会してください。

日本留学試験受付センター

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2 八王子SIAビル7F

(電話 0570-55-0585 ※一部携帯電話、IP電話及び海外からの電話は042-649-9571)

学部・課程・コース		出題言語	利用科目名		得 点
教育学部（学校教育課程）	幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 芸術身体教育コース	日本語	①日本語		「読解・聴読解・聴解」の合計 得点が6割以上 「記述」の得点が6割以上
			②総合科目 ③数学（コース1）		受験科目の総得点が6割以上 各科目の得点が平均点以上
	生活社会教育コース	日本語	①日本語	日本語を含む3科目を選択	「読解・聴読解・聴解」の合計 得点が6割以上 「記述」の得点が6割以上
			②総合科目 ③数学（コース1） ④理科（物理・化学・生物から2科目選択）		受験科目の総得点が6割以上 各科目の得点が平均点以上
	科学教育コース	日本語	①日本語		「読解・聴読解・聴解」の合計 得点が6割以上 「記述」の得点が6割以上
			②理科（物理・化学・生物から2科目選択） ③数学（コース2）		受験科目の総得点が6割以上 各科目の得点が平均点以上

学部・学科名		出題言語	利用科目名	得点
工学部	機械工学科	日本語	①日本語	「読解・聴読解・聴解」の合計 得点が平均点の9割以上 「記述」の得点が満点の5割以上
	応用化学科		②理科（物理・化学） ③数学（コース2）	受験科目の総得点が当該科目 の平均点の合計の9割以上
	先端材料理工学科			
	メカトロニクス工学科	日本語	①日本語	「読解・聴読解・聴解」の合計 得点が平均点の9割以上 「記述」の得点が満点の5割以上
	電気電子工学科		②理科（物理必須、化学・生物 から1科目選択、合計2科目） ③数学（コース2）	受験科目の総得点が当該科目 の平均点の合計の9割以上
	コンピュータ理工学科	日本語	①日本語	「読解・聴読解・聴解」の合計 得点が平均点の9割以上 「記述」の得点が満点の5割以上
生命環境学部	土木環境工学科		②理科（物理・化学・生物から 2科目選択） ③数学（コース2）	受験科目の総得点が当該科目 の平均点の合計の9割以上
	生命工学科	日本語	①日本語	「聴解・聴読解、読解」の合 計得点が6割以上 「記述」の得点が6割以上
			②理科（化学必須、物理・生物 から1科目選択、合計2科目） ③数学（コース2）	受験科目の総得点が6割以上 各科目の得点が平均点以上
	地域食物科学科	日本語	①日本語	「聴解・聴読解、読解」の合 計得点が6割以上 「記述」の得点が6割以上
	環境科学科		②理科（物理、化学、生物から 2科目選択） ③数学（コース2）	受験科目の総得点が6割以上 各科目の得点が平均点以上
	地域社会システム学科	日本語	①日本語	「聴解・聴読解、読解」の合 計得点が6.5割以上 「記述」の得点が6.5割以上
			②総合科目 ③数学（コース1）	受験科目の総得点が6.5割以上 各科目の得点が平均点以上

3 出願手続等

(1) 出願方法

次の URL から Web 出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を入力してください。

Web 出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

出願の流れは次のとおりです。

① 利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

※出願期間内に①～③の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合、出願の受け付けはできません。

(2) 入学検定料の支払いについて

入学検定料 17,000 円

「検定料支払画面で以下の①～④の中から支払方法を選択してください。日本国外から出願する方は、クレジットカードのみになります。クレジットカード以外の出願方法は、入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。

①クレジットカード ② コンビニエンスストア ③ 金融機関ATM (Pay-easy) ④ ネットバンキング

・全ての支払方法に対して、別途必要な手数料は志願者負担になります。

・いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」「平成 28 年熊本地震」「平成 30 年 7 月豪雨」「平成 30 年北海道胆振東部地震」「令和元年台風第 15 号及び第 19 号」及び「令和 2 年 7 月豪雨」の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細につきましては、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>) で確認してください。

(3) 出願書類等

出願書類には、各自が準備する書類と Web 出願サイトから印刷して提出する書類があります。

※写し（コピー）の提出を認めた書類を除き、原本を提出してください。

※英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

提出書類	作成者	摘 要
卒業（見込）証明書 及び成績証明書	出身学校長 関係機関等	出身学校長又は機関の長が作成した、最終卒業高等学校の卒業証明書（見込証明書）及び成績証明書を提出してください。 国際バカロレア資格を取得した方は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証明書及び成績証明書。 ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した方は、一般的大学入学資格証明書及び成績証明書。 フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した方は、バカロレア資格証明書及びバカロレア資格試験成績証明書。 グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した方は、成績評価証明書。 9 ページの「2 出願資格」(注 1) ア及びイに該当する認定試験に合格した方は、その合格した旨の証明書及び成績証明書。 9 ページの「2 出願資格」(注 1) イ及びウに該当する課程を修了した方及び令和 3 年 3 月 31 日までに修了見込みの方は、当該課程の修了証明書（又は修了見込証明書）及び成績証明書。
日本留学試験 成績通知書（写し）	独立行政法人 日本学生 支援機構	「2020 年度日本留学試験（10 ～ 11 ページの表 1 の科目）」の成績通知書の写し ※令和 2 年 11 月の試験が中止となった場合は 2019 年度実施分（令和元年 6 月又は 11 月）でも可とします。
TOEFL 又は TOEIC の 成績証明書（写し）	T O E F L T O E I C 試験実施機関	下記①～③のいずれかの写しを提出してください。ただし、2019 年 1 月以降に受験したものに限りません。 ①TOEFL-iBT Examinee Score Report ②The revised TOEFL Paper-delivered Test の Test Taker Score Report ③TOEIC Listening&Reading 公式認定書（Official Score Certificate もしくは Official Score Report）
履 歴 書	志 願 者	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
活動実績報告書	学校教育課程 芸術身体教育 コースの体育 実技を選択する方	本学ホームページ* から【活動実績報告書】をダウンロードし、作成要領に従って記入し、提出してください。

郵便切手貼付用紙 (受験票等送付用)	志 願 者	<u>日本国内から出願する方</u> Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374 円分の郵便切手（速達料含む）を貼付してください。（郵便切手は過不足なく用意してください。） <u>日本国外から出願する方</u> 郵便切手は必要ありません。Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】のみ同封してください。
住 民 票	市 区 町 村 長	住居地の市区町村長が交付する住民票（在留資格及び在留期間が明記されたもの）を提出してください。 出願時に国外に居住している方は、旅券の写しを提出してください。

※活動実績報告書の様式は、出願期間前から下記の URL よりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 学部入試 > 募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>

(4) 出願期間

令和 2 年 12 月 28 日（月）～ 令和 3 年 1 月 7 日（木） 17 時まで 【期間内必着】

- ① 出願期間内に Web 出願サイトで「出願情報の登録」「入学検定料の支払い」及び「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理できません。
- ② 出願書類の提出は郵送のみとし、出願期間内に到着したものに限ります。

(5) 出願書類等の提出方法

Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【出願書類等のチェックリスト】（提出不要）で、出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

日本国内から出願する方

- ① Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形 2 号封筒（24 cm× 33.2 cm）に貼ってください。
- ② 郵便局窓口から簡易書留速達で郵送してください。郵便事情を考慮し、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

日本国外から出願する方

- ① EMS・DHL 等の配達記録が確実に残る方法で送付してください。その際、Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を同封してください。
- ② Mailing address（出願書類提出先）
Admission Division, Academic Affairs Support Department, University of Yamanashi
4-4-37 Takeda, Kofu, Yamanashi 400-8510, Japan
(Phone: 055-220-8046 (from abroad,+81(0)55-220-8046))

(6) 出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課

電 話：055-220-8046

E-mail：web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※土・日曜日、祝日及び年末年始（12/29～1/3）は、対応ができません。

【出願書類の提出に際しての留意事項】

- ① 登録した出願情報等及び出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあるので十分注意してください。
- ② 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容の変更は認めません。また出願書類の返却及び内容変更も認めません。ただし、出願後に住所・連絡先に変更があった場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。
- ③ 登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

4 受験票の発送

(1) 国内在住の方

出願受付完了後、受験票を本人宛てに郵送しますので、試験当日、試験場に必ず持参してください。令和3年1月18日（月）までに到着しない場合は、教学支援部入試課（電話：055-220-8046）に照会してください。

(2) 国外在住の方

出願時に日本国外に居住している方は、試験当日、集合時刻前に教学支援部入試課で受験票を受け取ってください。

なお、コンピュータ理工学科志望の方には、受験票の pdf ファイルを出願時に登録したメールアドレス宛てに送付します。

※受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

5 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気やけが、障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和2年12月14日（月）までに教学支援部入試課へ連絡してください。

（連絡先） 山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

6 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験（工学部コンピュータ理工学科以外）、実技検査（教育学部学校教育課程芸術身体教育コース）及び、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

学部	課程・学科・コース	大学入学 共通テスト	日本留学試験		面接 試験	実技 検査	英 語
			理科、総合科目 又は 数学の 選 択 科 目	日本語			
教育学部	学校教育課程 幼小発達教育コース 障害児教育コース 言語教育コース 生活社会教育コース 科学教育コース	×	○	○	○	×	TOEFL 又は TOEIC の成績
	芸術身体教育コース					○	
工学部	機械工学科	×	○	○	○	×	TOEFL 又は TOEIC の成績
	メカトロニクス工学科						
	電気電子工学科						
	土木環境工学科						
	応用化学科						
	先端材料理工学科						
	コンピュータ理工学科	×	○	○	×	×	
生命環境学部	生命工学科	×	○	○	○	×	TOEFL 又は TOEIC の成績
	地域食物科学科						
	環境科学科						
	地域社会システム学科						

- (注) 1 ○印は受験を要することを、×印は受験を要しないことを示します。
 2 教育学部学校教育課程言語教育コースの面接試験は、次の口述試験を含みます。
 ・言語教育コース……………国語総合・現代文・古典の範囲に関する口述試験及び 100 語程度の英文の音読とその内容に関する口述試験

3 教育学部学校教育課程芸術身体教育コースを志願する方は、以下の音楽実技、美術実技、体育実技の中から、いずれか1つを選択すること。

・音楽実技を選択する方……………下記のA B C Dを受験すること。

A 旋律聴音 1 題（12-16 小節）

B 新曲視唱 1 題（練習時間 5 分程度）移動ド、固定ド、母音唱などの唱法は問わない。

C 任意の声楽曲を 1 曲演奏する（原語で歌うこと）。

D 任意のピアノ曲を 1 曲演奏する。

（注）1 ピアノ伴奏が必要な場合は、伴奏譜を出願時に同封すること。

2 楽譜を見てもよい。繰り返しは省略すること。

3 演奏する曲の様式、ジャンルは問わない。自作のものでも良い。

・美術実技を選択する方……………造形表現力の検査（形態、構成力などに関する考查を 120 分で行う。）

（注）鉛筆、消具など、鉛筆デッサン用具一式を持参すること。

・体育実技を選択する方……………活動実績報告書の提出をもって実技検査とする。

7 選抜期日及び場所

【教育学部】

期 日	集合時刻	集 合 場 所
令和3年1月22日（金）	13:00	山梨大学 J 号館 2 階 B 会議室（甲府西キャンパス）

【工 学 部】

学 科	期 日	集合時刻	集合場所	試験区分
機 械 工 学 科	令和3年 1月23日（土）	10:00	山梨大学 A-2 号館 1 階ロビー （甲府東キャンパス）	面接試験
メカトロニクス工学科				
電 気 電 子 工 学 科				
土 木 環 境 工 学 科				
応 用 化 学 科				
先 端 材 料 理 工 学 科				

※コンピュータ理工学科は、面接試験を実施しないため、来学の必要はありません。

【生命環境学部】

学 科	期 日	集合時刻	集合場所	試験区分
生 命 工 学 科	令和3年 1月23日（土）	10:00	山梨大学 S1 号館 1 階 S1-13 教室 （甲府西キャンパス）	面接試験
地 域 食 物 科 学 科				
環 境 科 学 科				
地域社会システム学科				

（注）集合場所等は、24 ページの山梨大学（甲府キャンパス）建物配置図を参照してください。

8 受験上の注意

- （1）教育学部及び生命環境学部においては、集合時刻後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めます。
工学部においては、集合時刻後 45 分以内の遅刻に限り受験を認めます。
なお、公共交通機関の事故等により上記の時間を超過した場合は、教学支援部入試課に申し出てください。
- （2）試験当日は、本学受験票のほか、日本留学試験の受験票及び筆記用具等〔HB 又は B の黒鉛筆、シャープペンシル（黒い芯に限る）、消しゴム、鉛筆削り〕を必ず持参してください。

9 入学試験における感染症対応について

本学では入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・水痘など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行

いけませんので、万全の態勢で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。
(試験当日までに、「10 受験生に対する要請事項」を熟読してください。)

ただし、令和3年度入試に限り、新型コロナウイルス感染症の罹患等に対する追試験を実施しますので、詳細は「17 新型コロナウイルス感染症罹患等に対する追試験の実施について」を確認してください。

10 受験生に対する要請事項

① 自主検温

試験日の7日程度前から、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

② 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生は、あらかじめ医療機関で受診してください。

③ 受験できない方

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方は受験できません。ただし、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者（保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた方のほか、過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から日本に入国した方を含む）のうち、次の条件全てに該当する場合は、本試験の受験を認めます（別室受験となります）。

- 1) 初期スクリーニング（自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果、陰性であること（結果が判明するまでは本試験を受験できませんので、その場合は追試験の申請をしてください）
- 2) 受験当日も無症状であること
- 3) 公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来られること

④ 受験の取り止め

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、試験日の前から継続して発熱・咳等の症状のある受験生は、本学が指定する期限までに追試験受験の申請を行い、当初予定していた本試験ではなく追試験を受験してください。

⑤ 試験当日における対応

発熱・咳等の症状のある受験生は、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合には受験を取り止め、その日のうちに追試験受験の申請手続きを行い、追試験を受験してください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験生は、その旨を試験監督者等に申し出てください。

なお、症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では昼食時以外は常に着用してください（何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、別室受験となります。「5 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談」に基づき、事前に教学支援部入試課へ連絡してください。）。また、休憩時間や昼食時等における他者との接触・会話は極力控えてください。

⑥ 試験当日の服装、昼食

試験当日は、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯がありますので、暖かい上着などを持参してください。また、試験場の食堂（大学会館、厚生会館）は営業しませんので、昼食は各自持参し、当日指定された席で指示された時間内に食事をとってください。

⑦ 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望まれます。

⑧ 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の

回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

⑨ **新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロード**

「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA：COVID-19 Contact Confirming Application）」は、利用者が新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がある場合に通知を受けることができるものです。その後の検査の受診など、保健所のサポートを早く受けることができますので、これを活用することが望まれます。（通知を受けたことが直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありません。）

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、受験生以外の方は入構できません。（保護者等の控室も設置しません。）

11 不正行為等に対する処置

次のことをすると不正行為となります。不正行為と認定された場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。

- (1) Web 出願情報、出願書類の記載事項において故意に虚偽の記入（本人以外の顔写真画像を登録することなど）をすること。
- (2) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、IC レコーダ等の電子機器類を使用すること。
- (3) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (4) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (5) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (6) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12 合格者の発表

日 時：令和3年2月5日（金）16時頃

発表方法：教育学部については甲府西キャンパスJ号館正面入口、工学部については甲府東キャンパスA-2号館正面入り口、生命環境学部については甲府西キャンパスS-1号館正面入口に合格者の受験番号を掲示するとともに、本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp>）にも掲載します。（電話等による合否や受験番号の照会には応じられません。）

合格者には合格通知書を郵送します。最終的な確認は、合格通知書で行ってください。

13 入学手続

(1) 手 続 期 間 令和3年2月17日（水）～2月22日（月）

(2) 入 学 料 282,000円（予定）

(3) 留 意 事 項

- ・ 入学手続期間に手続をしなかった方は、本学への入学の意思がなく入学を辞退したものととして取り扱います。
- ・ 入学料は、入学手続時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- ・ 入学手続関係書類は、合格通知書とともに郵送します。

14 授業料

納入金額（前期分）267,900 円〈年額 535,800 円〉（予定）

（注）1 授業料は予定額であり、入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

2 授業料は、前期（4 月中）及び後期（10 月中）の 2 期に分け、原則指定口座からの引落としとなります。手続については、別途案内します。

15 その他の経費

後援会費、同窓会費及び学友会費等を含めて、教育学部 計 40,000 円（4 年間分）、工学部 計 30,000 円（4 年間分）、生命環境学部 計 48,000 円（4 年間分）程度の経費が必要です。（教材費等は含みません。）

なお、これらの経費については、変更になることがあります。

16 その他

（1）個人情報の取り扱いについて

山梨大学では、個人情報について、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

1）出願にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。

2）入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法検討資料作成のために利用します。

3）なお、入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、上記業務での利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

（2）安全保障輸出管理について

山梨大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人山梨大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

17 新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する追試験の実施について

新型コロナウイルス感染症罹患者等に対する受験機会の確保への配慮として、令和 2 年度に実施する「令和 3 年度入学者選抜」に限り、特例措置として追試験を行います。

※本項目に記載した事項以外については、本試験を受験した場合と同様です。

（1）対象者

追試験の対象者は、以下の①又は②の理由により本試験を受験しなかった方のうち、本学が指定する期限までに必要書類を添えて申請し、追試験の受験が許可された方とします。なお、本試験開始後の発病等については、追試験の対象とはしません。

① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、本試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中

の方又は本試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた方※

※発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者は、「10 受験生に対する要請事項」の③に記載した条件を全て満たす場合に限り、本試験を受験することができます（別室受験となります）。受験を希望する場合は、事前に教学支援部入試課へ電話し、本試験前日の午前10時まで「濃厚接触者受験申請書」（様式は本学ホームページからダウンロード）を提出してください。

- ② 発熱・咳等の症状があり、本試験当日の自己検温で 37.5 度以上の熱があり、医療機関を受診して診断書等を提出できる方

(2) 追試験の申請期限及び方法

上記追試験対象者は、令和3年1月23日（土）（教育学部は1月22日（金））17時まで
に本学所定の「追試験受験申請書」（様式は本学ホームページからダウンロード）及び「診断書」、
「受験票の写し」を、代理人による持参、郵送、FAX 又はメールにより提出してください【期
限内必着】。本学において、提出書類の内容を確認の上、結果を送付します。

※必ず事前に下記電話番号に連絡してから申請してください。

※診断書を当日提出することが困難な場合は、令和3年1月25日（月）（教育学部は1月
23日（土））9時～12時の間に提出してください。

※診断書を FAX 又はメールで提出した方は、原本を追試験の前日までに必ず提出してくだ
さい。

【提出先】 教学支援部入試課 〒 400-8510 甲府市武田4丁目4－37
電話：055-220-8046 FAX：055-220-8795
Email：nyushi@yamanashi.ac.jp

(3) 選抜方法

日本留学試験、出身学校長が発行した成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判
定し、合格者を決定します。

(4) 選抜の期日

期日：令和3年2月6日（土）

※出願書類のみでの判定となりますので、来学する必要はありません。

(5) 合格者の発表

日時：令和3年2月16日（火）16時ごろ

発表方法：本試験と同様の方法です。

(6) 入学手続 ※本試験と同期間です。（追試験単独の入学手続期間はありません。）

令和3年2月17日（水）～2月22日（月）

(7) 留意事項

追試験は、新型コロナウイルス感染症の罹患等でやむを得ず受験できなかった受験生に対
する受験機会確保のための措置であることから、必ずしも追試験受験生から合格者を出す
というものではありません。また、虚偽の申請が認められた場合は、入学後であっても、入学
を取り消すことがあります。

出願上の注意事項

(1) 提出書類について

学校又は機関が作成する書類が英語以外の外国語の場合は、日本語訳を添付してください。

(2) Web 出願入力について

出願入力手順については、下記を参考にしてください。

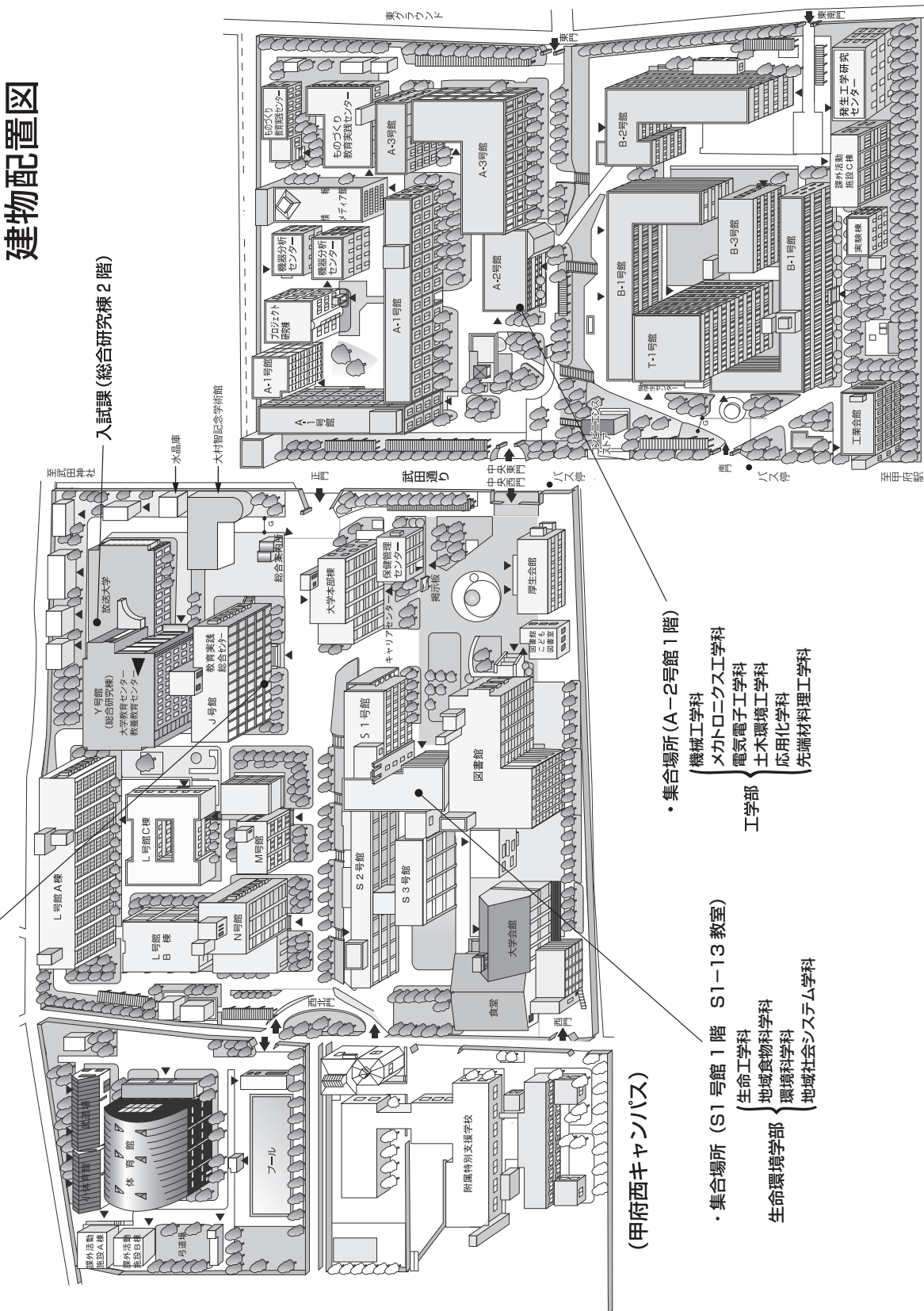
Web 出願入力サイト利用案内>利用案内>利用者登録後の出願入力手順（PDF）

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp/wss/page/guide/>

- ① 利用者情報の登録が必要になります。出願期間前から登録が可能です。
- ② Web 出願入力は、出願期間内のみ可能です。
- ③ 「氏名」や「住所」の登録は、日本語か半角英数字で入力してください。（略字を使用せず、フルネームで入力）。(例) 張→張または Zhang、刘→劉または Liu
- ④ 「フリガナ」はカタカナもしくは、「氏名」と同じアルファベットで入力してください。
- ⑤ 氏名・住所等が入力文字数を超える場合は、提出書類の履歴書の空白部分に入力できなかった部分を加筆してください。
- ⑥ 「志願者連絡先」は、出願書類の照会や確認及び受験票等が確実に届く連絡先を入力してください。
- ⑦ 「日本国内での連絡先（志願者以外）」は、本人以外で、速やかに本人に連絡をとることができる連絡先を入力してください。日本国外在住の方で、日本国内の連絡先が無い場合は、志願者の連絡先を入力してください。
(例) 親族、日本語学校の先生、友人
- ⑧ 「出願資格（最終学校）」欄は、卒業（修了）又は卒業（修了）見込年月・学校名・国名を入力してください。
- ⑨ 「出願資格（資格試験）」欄は、国際バカロレア資格等の大学入学に必要な資格を取得した場合に、年月・名称を記入してください。
- ⑩ 「在留資格」欄は、出入国管理及び難民認定法第2条の2第2項に該当する在留資格を入力してください。国外在住者は、「なし」と入力してください。
- ⑪ 「学歴」欄は、小学校入学から高等学校卒業までを年月順に入力してください。
- ⑫ 「日本語の学習歴」欄は、日本語学校の通学歴を年月順に入力してください。

山梨大学 (甲府キャンパス) 建物配置図

・集合場所 (J号館2階B会議室)
教育学部



(甲府西キャンパス)

・集合場所 (A-2号館 1階)

- 工学部
 - 機械工学科
 - メカトロニクス工学科
 - 電気電子工学科
 - 土木環境工学科
 - 応用化学科
 - 先端材料理工学科

・集合場所 (S1号館 1階 S1-13教室)

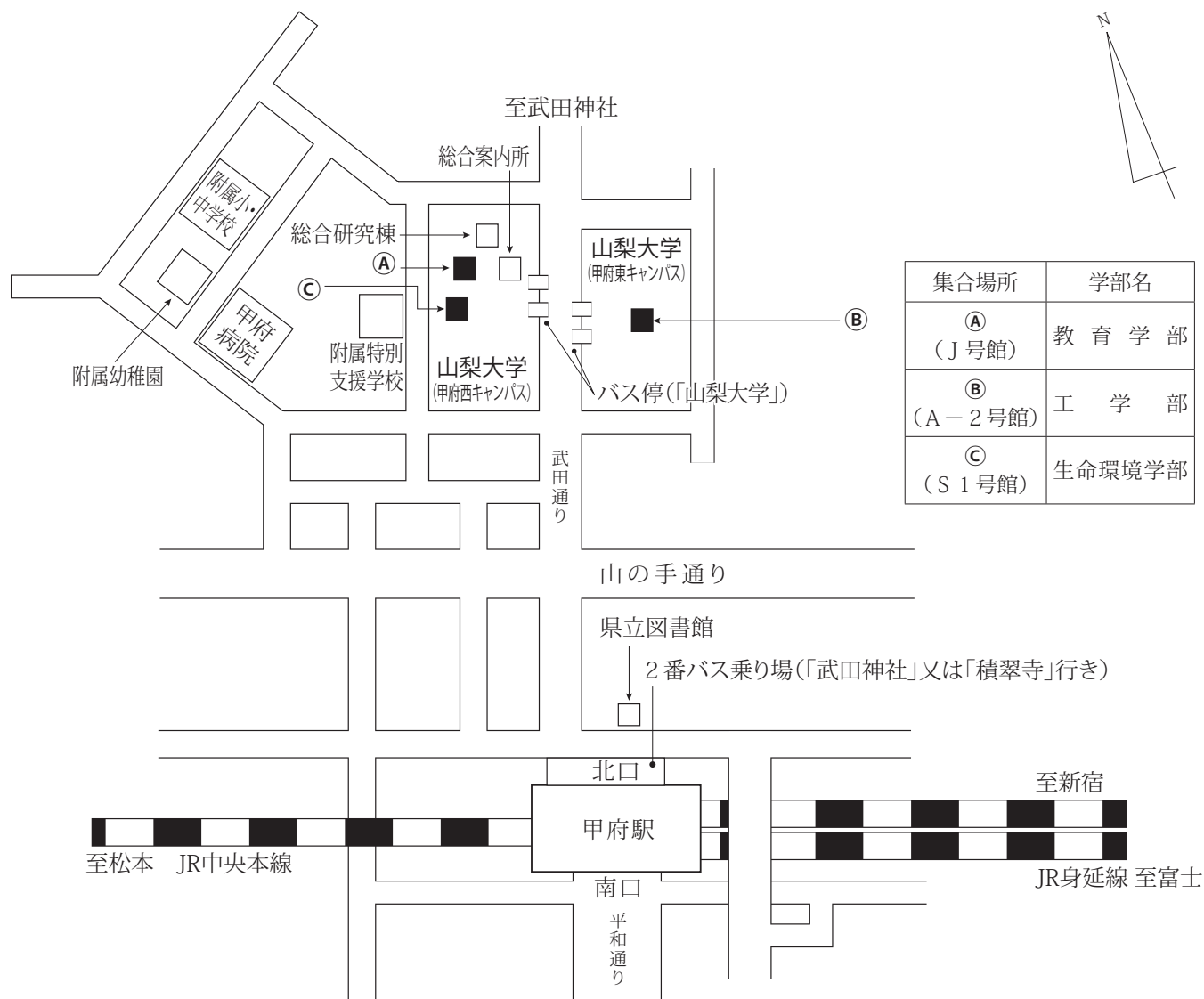
- 生命環境学部
 - 生命工学科
 - 地域食物科学科
 - 環境科学科
 - 地域社会システム学科

(甲府東キャンパス)

山梨大学（甲府キャンパス）周辺図

JR 甲府駅下車、北口から徒歩約 15 分

JR 甲府駅下車、北口からバス（「武田神社」又は「積翠寺」行き）で約 5 分 「山梨大学」下車



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。

(私費外国人留学生入試)

教育学部学校教育課程 芸術身体教育コースの体育実技を選択する方

活動実績報告書

フリガナ		性別	男・女	受験番号	※		
氏 名							
生 年 月 日	年 月 日	身長	cm	体重	kg		
主な種目名・活動実績名等							
参 加 大 会 名 等		開催地・開催年月	成績・記録・参加状況等	学年	本人が果たした役割		
1							
2							
3							
4							
その他							

活動実績報告書の作成要領

この報告書は、教育学部の学校教育課程芸術身体教育コースの体育実技を選択する方の実技検査として使用するものです。スポーツ・体育活動歴の有無にかかわらず、志願する方全員が必ず提出してください。

【作成要領】

- 1 「主な種目名・活動実績名等」欄には、主となる種目名・活動実績名を1つだけ記入してください。
- 2 「参加大会名等」欄には、これまでに出場した大会の中で、主要な実績の正式名称を記入してください（4つ以内）。
- 3 「開催地・開催年月」欄には、活動を行った場所、開催年月を記入してください。
- 4 「成績・記録・参加状況等」欄には、順位等の成績をできるだけ具体的に記入してください。（「優勝」、「ベスト8」、「2回戦敗退（ベスト32）」、「奨励賞受賞」など）
- 5 「学年」欄については、該当する学年を記入してください。（「小学校6年」、「高校1年」など）
- 6 「本人が果たした役割」欄は、ポジション、役割、貢献度（当該試合の出場の実態：スターティングメンバー、途中交代、リザーブで出場なし等）についてできるだけ具体的に記入してください。
- 7 「その他」欄は、特筆すべき活動実績がある場合に記入してください。
- 8 ※印欄は、大学側で記入します。